

投資情報室 (審査確認番号 2022-TB119)

間市場レポート (2022年8月15日~8月19日)

1) 生涯の古担動向

| 1) 先週の市場動同 | | | | |
|--------------------------------|--------------------|-----------|-----------|------------------------|
| 指数名 | 国 | 前週末 | 先週末 | 前週末比 |
| | | 2022/8/12 | 2022/8/19 | (%) |
| 日経平均株価 (円) | | 28,546.98 | 28,930.33 | 1.34 🖊 |
| TOPIX(東証株価指数) | | 1,973.18 | 1,994.52 | 1.08 🖊 |
| ダウ工業株30種平均(ドル) | | 33,761.05 | 33,706.74 | ▲ 0.16 🔪 |
| S&P500種指数 | | 4,280.15 | 4,228.48 | 1 .21 🔪 |
| ナスダック総合指数 | | 13,047.19 | 12,705.21 | ▲ 2.62 \ |
| ユーロ・ストックス50指数 | | 3,776.81 | 3,730.32 | 1 .23 🔪 |
| S&P/ASX300指数 | * AK AK * AK | 7,026.45 | 7,103.58 | 1.10 🖊 |
| 上海総合指数 | *]: | 3,276.89 | 3,258.08 | ▲ 0.57 \ |
| MSCI AC アジア (除く日本)* | | 834.56 | 827.78 | ▲ 0.81 \ |
| 東証REIT指数 | | 2,012.17 | 2,038.63 | 1.31 🖊 |
| FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数 | | 868.44 | 850.54 | ▲ 2.06 \ |
| ASX300 REIT指数 | * AK | 1,446.10 | 1,443.70 | ▲ 0.17 🔪 |
| グローバルREIT (除く日本)※ | | 201.42 | 197.01 | ▲ 2.19 🔪 |
| 日本10年国債(%) | | 0.190 | 0.202 | 0.012 🖊 |
| 米国10年国債(%) | | 2.831 | 2.972 | 0.141 🖊 |
| ドイツ10年国債(%) | | 0.987 | 1.230 | 0.243 🖊 |
| 英国10年国債(%) | | 2.111 | 2.411 | 0.300 🖊 |
| ドル/円 | | 133.42 | 136.97 | 2.66 🖊 |
| ユーロ/円 | | 136.88 | 137.56 | 0.50 🖊 |
| 英ポンド/円 | | 161.83 | 162.05 | 0.13 🖊 |
| 豪ドル/円 | ** | 95.07 | 94.17 | ▲ 0.95 🔪 |
| フィラデルフィア半導体指数 | | 3,067.84 | 2,953.34 | ▲ 3.73 \ |
| WTI原油先物(ドル) | | 92.09 | 90.77 | ▲ 1.43 \ |
| CRB指数 | | 293.48 | 292.03 | ▲ 0.49 🔪 |

2) 日本の株式・債券市場

≪ 株式 ≫

日本株式市場(日経平均株価)は、前週末比で上昇しました。

国内の新規の材料が乏しいなか、前週に発表された米国の物価関連指標を受 け米連邦準備制度理事会 (FRB) が今後の利上げペースを緩やかにするとの 思惑や、米大手小売企業の好決算を材料に上昇しました。週末にかけて、最 近の急ピッチな上昇で、心理的な節目となる29,000円を超える場面では、高 値警戒感から利益確定売りに押されたものの、週間では前週末比で上昇しま した。



NISSAY

≪ 債券 ≫

日本債券市場(10年国債金利)は、前週末比で横ばいとなりました。 週を诵じて国債入札や日銀の国債買い入れオペなどのイベントが少なく、国内 の手がかりとなる材料にも乏しかったことから、欧米の長期金利の動向を受け、 一進一退となりました。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

米国株式市場(NYダウ)は、前週末比で横ばいとなりました。

前週に発表された物価関連指標を受け米長期金利が低下したことや、大手小 売企業の決算が好感され、週前半は上昇しました。その後、大幅減益を発表 した大手ディスカウントストアの決算が嫌気されたことや、FRB高官が9月 の米連邦公開市場委員会(FOMC)での大幅利上げを支持する姿勢を明らか にしたことから下落したものの、週間では前週末比で横ばいとなりました。



4) 外国為替市場

マーケットレポート

米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。

高インフレが続くとの見方から欧州長期金利が上昇した流れを受け、米長期 金利が上昇したことや、FRB高官が相次いで利上げに前向きな姿勢を示したこ とから、日米の金利差拡大を意識した円売り米ドル買いが優勢となりました。 週末には、一時、約3週間ぶりとなる137円台まで円安米ドル高が進みました。



5) 今週の見通しについて

FRBが17日(水)に公表した7月のFOMCの議事要旨では、参加者がイン フレの抑制に向け、利上げを継続する方針を確認した一方、『ある時点で利 上げペースを減速することが適切』との認識で一致したことが明らかとなり ました。足元では、インフレ圧力の低下を示唆する経済指標が増えつつある ことなどから、9月以降の会合でFRBが利上げ幅を縮小するとの見方もある ようですが、先週後半より、FRB高官によるタカ派(金融引き締め推進派) 的な発言が相次いでおり、市場ではFRBによる今後の金融政策をめぐる思惑 が交錯しています。

今週は、25~27日の日程で経済シンポジウム(ジャクソンホール会議)が 開催されます。パウエルFRB議長は26円(金)に経済見通しについて講演 する予定であり、今後の利上げペースや利上げの打ち止め時期について踏み 込んだ発言があるか注目されます。今週の株式市場は、ジャクソンホール会 議でのパウエルFRB議長の発言をめぐる思惑から、日米両市場ともに神経質 な値動きとなりそうです。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものでは ありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- ・ 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

NISSAY ASSET MANAGEME

商 号 等:ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長(金商)第369号

加入協会:一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9:00~17:00 (土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ https://www.nam.co.jp/